

「消防団の力向上モデル事業」事業紹介

NO.	12	地方公共 団体名	福島県	消防団名	—
担当課	危機管理部 消防保安課		連絡先	Tel 024-521-7190 E-mail syoubou@pref.fukushima.lg.jp	
事業名	災害現場におけるドローン活用能力向上事業				
事業詳細	<p>○ 事業の目的・必要性</p> <p>近年、ドローン(無人航空機)は、消防分野において、迅速で広範囲な情報収集に効果を発揮することから、建物、林野等の火災発生時における状況確認、捜索活動、土砂災害や水害における人的被害や交通途絶状況の確認等において活用されており、全国的に導入が進んでいる状況にある。</p> <p>消防団においても、ドローンの高度な操縦技術を習得することにより、災害時におけるドローンの有効活用が可能となり、消防関係者の負担軽減や安全確保等が図られるとともに、迅速かつ適切な消防活動に寄与し、社会環境の変化に対応した消防団運営の普及・促進から地域防災力の向上を目指す。</p> <p>ドローンを導入済みまたは導入を検討している消防団において、操縦者育成、高度な操縦技術の習得、訓練場所の確保等の課題があり、ドローンを有効活用するためにも、高度な操縦方法等について講習を行う必要がある。</p> <p>また、令和元年10月の台風第19号等の災害において、ドローンを活用し、土砂崩れの状況確認、行方不明者の捜索、市街地や幹線道路の浸水被害確認等にドローンが活用されてその有効性が再認識されているところであることから、未導入の消防団等に対しても、ドローンの普及促進を図る必要がある。</p> <p>○ 事業内容</p> <p>ドローン操作講習会を開催し、基礎講習に36名、実技講習に28名の延べ64名が参加した。</p>				



○ 目標達成状況

指標	単位	当初目標値	実績値	備考
講習会参加者	人数	60人	64人	基礎講習 36人 実技講習 28人
講習会	回数	4回	4回	基礎講習、実技講習 各2回
ドローン 導入消防団	消防団数	13	10	団員からの要望が上がってきている 消防団もあるが、予算の都合上近々の 導入は難しいとのこと。

※事業提案書(様式1)アウトプット成果指標の結果を記入して下さい

○ 事業成果

講習により、消防団員にドローンの操作技術だけでなく、点検や航空法等の法令についての知識についても身につけることができた。

所属する消防団にはドローンが配備されていない場合が多かったため、講習を行っても実際の災害現場での活用が困難であることが課題である。

また、ドローンに関する知識を操作技術を身につけている消防団員の数が少ないため、当該踏襲については今後も継続して続けて行く必要があると考える。

その他参考
情報

※URLの記載などをお願いします。